

# 令和4年度（2022年度）公共事業再評価調査書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	06-05	所管部	農政部	作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長 岩田 正敏
				担当係	畑地整備係（内）27-572

## I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道営土地改良事業費（水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備中山間地域型））				
地区名	安国	市町村名	遠軽町	総事業費	1,279 百万円
負担割合	国 55.0%	道 28.0%	市町村 14.2%	その他 2.8%	
	703 百万円	358 百万円	182 百万円	36 百万円	

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●畑作物の生産振興及び畑作経営の改善を図る。</li> <li>●地域農業をささえる担い手農家の経営体質を改善し、安定した農業経営の確立を目指す。</li> <li>●担い手への農地集積を図る。</li> <li>●事業実施により、安全・安心な食の生産をささえる。</li> </ul>
	<p>【アウトカム】等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業実施前（H28年（2016年））の担い手農地利用集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は66.8%である。本事業を継続実施することにより事業完了翌年には100%への向上が見込まれる。</li> </ul>

事業概要	本地区は、未整備な排水路から周辺農地の冠水が度々発生しており、また、排水不良土壌や地形条件に起因する湿害により生産性や作業効率の向上に支障を来している。このため、排水路整備や区画整理を一体的に整備し、農業経営の合理化と安定化を図る。	工事費内訳	受益面積 152ha→192ha	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			受益戸数 10戸→12戸	前回評価	今回評価	増減額
			○排水路 L=7,089m→L=7,450m	610	832	222
			○区画整理（整地、暗渠排水、除礫）	96	161	65
			A=44ha→A=69ha			
			○測量設計費 調査・設計	210	266	56
			○用地費及補償費 用地買収・物件補償	14	20	6
			計	930	1,279	349

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	農業農村整備の推進

特定分野別計画等での位置づけ	<p>【第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】 （生産基盤の強化） スマート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区画化や農地の排水対策など、農業の生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。</p>
関連する指標	<p>食料自給率（カロリーベース） 令和12年度（2030年度）目標値：268%</p>

## II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							930	260			
事前評価又は当初	H29(2017)	H29(2017)		H34(2022)							
前回再評価											
今回評価	H29(2017)	H29(2017)	R4(2022)	R6(2024)	5	1,279	358	161	910	71%	

変更理由・内容（概要）	<p>(1)排水路について、詳細調査の結果、流末を含めた整備が必要となったことによる事業量・事業費の増。(2)区画整理について、新たに取得した農地を整備することによる事業量・事業費の増。(3)自然増、消費税率の改正による事業費の増。(4)積算基準の改正による事業費の増。(5)排水路の新たな整備区間における調査設計、用地処理に伴う事業工期の延長</p>
-------------	--

## III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<p>本地区は、排水不良土壌に起因する湿害や、既設排水路の断面不足による周辺農地の冠水発生が地域農業の課題となっていた。このため、排水路の整備や区画整理によりほ場の排水機能を高め、収益性と生産性の高い農業基盤の確立による農業経営の合理化と安定化を目指し、遠軽町から事業採択に向けた要望が出されていた。</p>
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● H26年（2014年） 6月 遠軽町からオホーツク総合振興局に調査計画を要望</li> <li>● H27年（2015年） 4月 オホーツク総合振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始</li> <li>● H28年（2016年） 11月 農林水産省へ事業申請</li> <li>● H29年（2017年） 4月 事業採択</li> </ul>
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遠軽町 受益面積 152ha→192ha、受益戸数 10戸→12戸 排水路整備や区画整理を実施することで、農業経営の合理化と安定化を目指す。</li> </ul>

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

#### IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画											進捗状況	事業費(百万円)			
	施工(工種)区分	工事内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6						
	排水路	L=7,450m				L=5,904m				L=1,546m					72%	832
	区画整理	A=69ha				A=57ha				A=12ha					41%	161
	測量設計費	調査・設計						実施設計等							86%	266
用地費及補償費	用地買収・物件補償						用地買収・電柱移設等					97%	20			

(2) 進捗状況

排水路の整備延長の増加により事業工期が延伸しているが、排水路及び区画整理ともに予定どおり進捗しており、今後の実施にあたっては大きな支障となるものはない。

**b** a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	作物生産効果	1,219	区画整理	264	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省H30改正)に基づき算出</li> <li>●経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR4年度に現在価値化している。</li> <li>●費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。</li> <li>●農業用排水施設と接続する既設排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。</li> </ul>
	営農経費節減効果	299	農業用排水施設	1,095	
	維持管理費節減効果	△ 117	関連施設	61	
国産農産物安定供給効果	466				
合計(B)	1,867	合計(C)	1,420		
B/C	前回算定年度 : 平成28年(2016年度)【事業採択時】 前回算定時B/C : 1.48 変更理由 :				
R4現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費の増額に伴う費用の増加</li> <li>・算定年度変更による諸係数、単価の入れ替えに伴う精査</li> <li>・営農経費節減効果の人件費・機械経費に係る単価の入れ替えに伴う便益の増</li> </ul>				
1.31					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	暗渠排水の疎水材にホタテ貝殻の有効利用	

#### V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●排水不良土壌による湿害や既設排水路の断面不足等による周辺農地の冠水被害など地域農業の課題に対応するため、排水路整備や区画整理を一体的に実施し、農業経営の合理化と安定化を目指す。</li> <li>●事業の必要性に変化は無く、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>	
	<b>a</b>	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺環境に配慮し、機械施工の際は騒音、振動の発生を極力抑える。</li> <li>●排水流下河川の汚濁防止のための対策をする。</li> </ul>
	(2) 事業推進に対する住民の動向
<ul style="list-style-type: none"> <li>●遠軽地区総合開発期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。</li> </ul>	
(3) その他の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特になし</li> </ul>

3. 事業達成の見込み	採択時点から事業期間を2年延伸しているが、事業の必要性に変化がないほか、事業を推進する上での課題等もなく、採択時点から大幅に事業が進捗していることから、予定年度の事業達成が見込まれる。					
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	現時点で想定可能な見直しは全て行っており、今後は順調な進捗が見込まれ、残りの事業期間内での事業達成が十分に可能なほか、B/Cは1.31となっていることから、令和6年（2024）年度の完成を目指し事業を継続する。					
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止				
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有

## VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】
	・事前評価：該当なし ・再評価：該当なし
2. その他の取組事項	【特記事項】

## 補足資料

### VII 事業計画変更

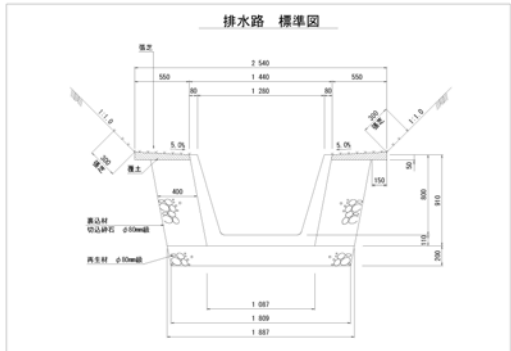
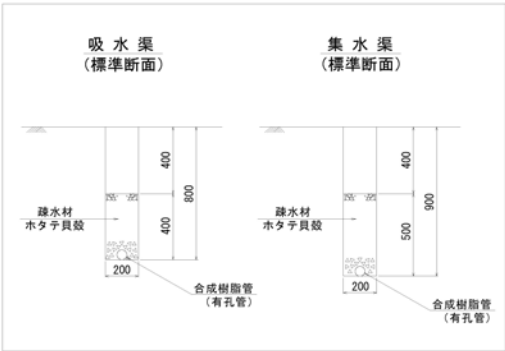
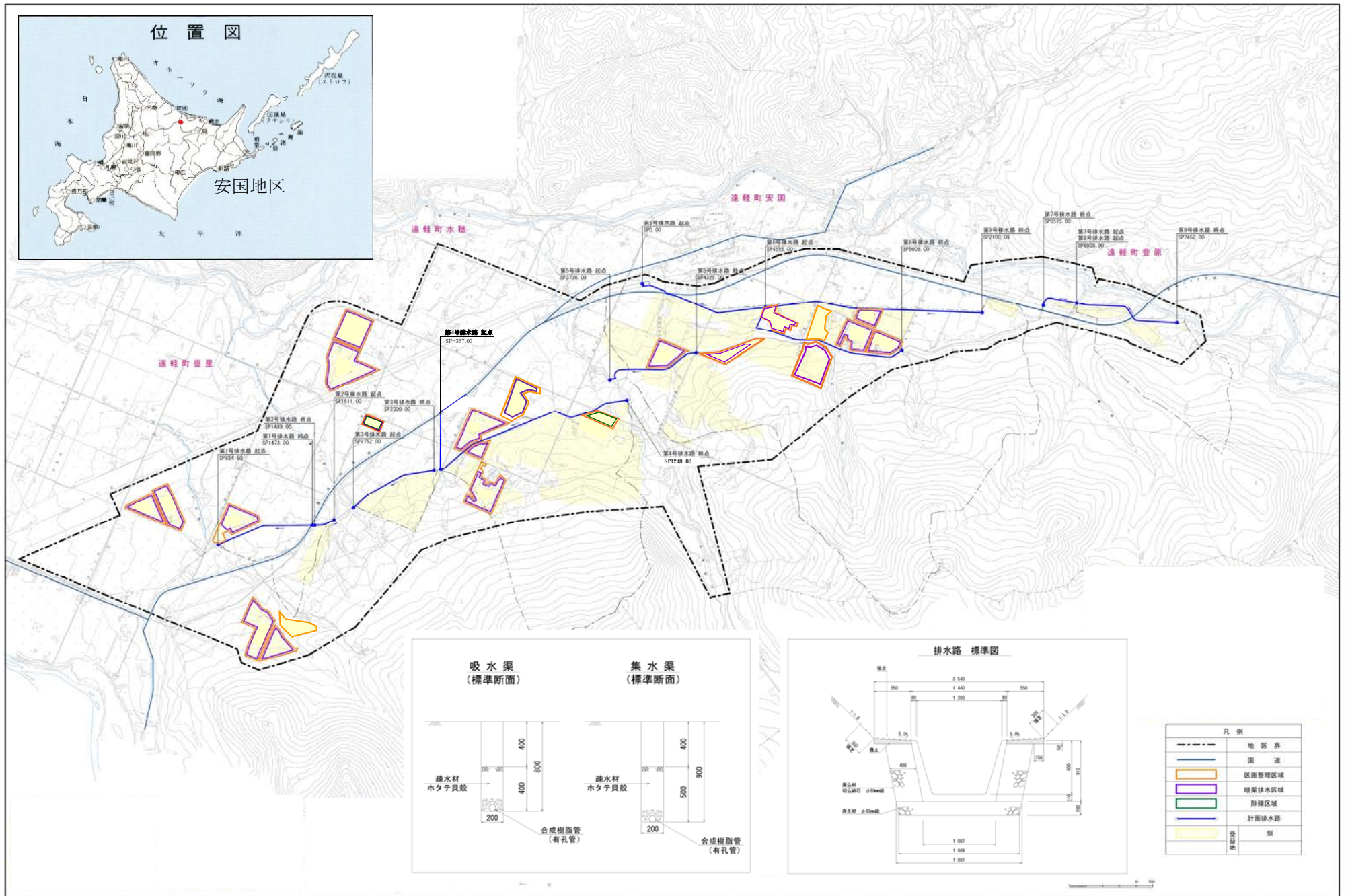
事業経過							事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H29 (2017)	H29 (2017)			H34 (2022)	930			
変更①		H29 (2017)	H29 (2017)		R3 (2021)	R6 (2024)	1,253			
変更②	1回目			R4 (2022)		R6 (2024)	1,279	161	910	71%
変更③										
変更④										
変更⑤										
変更⑥										
変更⑦										
変更⑧										
変更⑨										
変更⑩										
							5			
変更理由・内容							変更①（第1回計画変更）：総事業費・事業内容・事業期間の変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>排水路について、詳細調査の結果、流末を含めた整備が必要となったことによる事業量・事業費の増。</li> <li>区画整理について、追加要望として、離農や経営規模縮小に伴う農地の新たな担い手による取得及び集中豪雨による排水不良農地を整備することによる事業量・事業費の増。</li> <li>自然増及び消費税率（8%→10%）の改正による事業費の増。</li> <li>排水路の新たな整備区間における調査設計や用地処理に伴う事業工期の延長</li> </ul> 変更②（R4.8.1時点）：事業費の変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>自然増による事業費の増。</li> </ul>			



# 事業概要図

事業名 水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備中山間地域型) 地区名 安国地区

## 事業地区位置図



凡例	
---	地区界
—	国道
▭ (orange)	区画整理区域
▭ (purple)	暗渠排水区域
▭ (green)	除穢区域
— (blue)	計画排水路
▭ (yellow)	畑

